

性器ヘルペスについて

単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)、または2型(HSV-2)による性感染症です。現在までに開発された抗ヘルペスウイルス薬は、ヘルペスウイルスの増殖抑制の効果はありますが、排除はできないため一度症状が消失しても神経に潜伏し、免疫力が低下した時に再発を繰り返します。また、性行為のパートナーに症状がないこともしばしばあります。

症状

男性

2～10 日間の潜伏期後に亀頭部、陰茎部にかゆみや違和感を伴った直径 1～2mm 大の水疱が出現し、3～5 日後に水疱が破れて浅い潰瘍となります。1 週間前後に最も重症化し、2～3 週間で自然治癒します。単径リンパ節の腫脹や圧痛、尿道から分泌物も認める場合や、38℃以上の発熱を認める場合もあります。

女性

2～10 日間の潜伏期後に大小陰唇、膣前庭部、会陰部に水疱や浅い潰瘍を認めます。男性より重症となることが多く、痛みのために排尿困難や歩行困難となることもあります。仙骨神経障害から排尿・排便困難となる場合があります、ヘルペスバーグ症候群と呼ばれます。単径リンパ節の腫脹や圧痛、38℃以上の発熱を認める場合もあります。

検査

HSV のイムノクロマトグラフィー法、PCR 法、血清抗体検査もありますが、正診率が低いこと、再発例では変動しないことが多いため、症状、既往歴、局所所見で診断します。

治療

初発

アシクロビル 200mg を 1 日 5 回、ファムシクロビル 250mg を 1 日 3 回、バラシクロビル 500mg を 1 日 2 回 5～10 日間内服します。アシクロビルとファムシクロビルは保険適用が 5 日までです。重症例ではアシクロビル 5mg/kg/回を 1 日 3 回 7 日間点滴します。

再発

アシクロビル 200mg を 1 日 5 回、ファムシクロビル 250mg を 1 日 3 回、バラシクロビル 500mg を 1 日 2 回 5 日間内服します。発症後早めに内服することが大事で、可能なら 6 時間以内が望ましく、48 時間を過ぎると効果が不十分です。軽症例には 5%アシクロビル軟膏を 1 日数回 5~10 日間塗布する。

6 回/年以上の再発を繰り返す場合にはバラシクロビル 500 mg を 1 日 1 回で 1 年間継続することもあります。1 回/月で通院が必要で、再発時にはバラシクロビルを 1 日 2 回に増量し、治癒したら 1 日 1 回に戻します。